平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校教	小学校教育総務施設管理事業					
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山(教育・文化の充実向上)	主管課	学校施設課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	大塚 昌浩			

「 事務事業の日的・内容

事業目的	対象	小学校の児童、教職員及び 意図 施設の不良箇所の修繕、樹木の剪定等による日常的な施設の 学校施設利用者						
事業内容		・施設を維持するための光熱水費、各種点検・保険料、土地使用料等の支出 ・小学校施設の日常的な管理における小規模な破損、不良箇所の修繕						
ら現在	・学校施設の老朽化に伴い、修繕が必要な箇所は増加、内容も多岐 ・修繕実施件数、費用は横ばいであるが、樹木管理においての剪定等が困難になる傾向 ・デザインビルド型包括管理業務委託の採用により設備の保守点検業務の予算及び発注事務 財産活用課に移管							

\blacksquare	=	事務	事業の実	績・現状及	び成果を	表す指	標の動き	- ع	コスト	·の状況
			名	称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		1	施設修繕実	E施件数	182	209	177	件	$\rightarrow \rightarrow$	
		2	電気料		49, 581, 768	57, 263, 013	59, 200, 212	円	777	
推	≦標	3	ガス料金		13, 559, 845	17, 378, 698	17, 232, 023	円	777	
		4	上下水道料	├金	64, 010, 691	62, 525, 653	67, 034, 711	円	777	
		⑤								
		6								
5	指標で表すことができない 定性的な成果							基づく	二対する現状 (客観的事実・データに現在の状況や取組状況) との修繕は、予算の範囲内で実施	
事	事務事業のコスト 平成28年度		平成29年度		平成30年度		したものであり、指標としては判断し にくい。 ・光熱水使用量は、学校利用者の取り			
事	事務事業の総コスト(a=b+c) 216,776,028		8 217, 398, 440		217, 964, 781					
	事業費(b)(円) 209,567,77		8 210,	881,640	214,668,781 組みもあり、		組みも	っあり、低減される傾向である		
	うち一般財源 209,567,778 職員給与費(c)(円) 7,208,256		, ,		214 668	214,668,781 が、その年の気候状況の影響を すく、また、使用料自体が値				
							9 く、 傾向に	こある。平成30年度は新たに増		
	-	, ,,,,,	職員(人)	1.0	5	0. 90		0.50	築され	た校舎棟の供用開始も行われ
	-		再任用(人)			0. 20			た。	
			臨職(人)							
人役・嘱託(人)				<u> </u>						
_	初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ									
恕	想定耐用年数(年)(建設又は取得年			‡度のみ記フ	\bigcirc					

Ⅲ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

		今後の必要性	A 考え	必要性が高まると さられる	有効性	目標達成度		達成できた	
	個別評価	必要性	市関与の必要性 A 市が担うべい	A 主が担るべき		対象者の適切性	A	対象者は適切である	
				山27-4百万、19		コストの削減	B る	削減の余地がややあ	
	総合評価	Ⅱ 継	続 (事業	を現	状どおり継続すべき	()		=	

(2) 事務事業の業務改善について

①H3O当 初の改善 計画 (Plan)	光熱水費、委託料の削減。
②H30に 実施した 取組(Do)	保守点検業務委託の発注方法及び仕様 書の見直し。

③取組に	限られた予算の中で、毎年進行する施
おける課	設及び設備の経年劣化に対応するため
題	には優先順位を的確に判断することが
(Check)	必要。
④課題に対する今後 (H31~)の 改善計画 (Action)	事後保全から予防保全への切替を目指 し、計画的な維持管理を実施してい く。